

# 逗子市議会議員

# さぎさか ゆうじ 活動レポート vol. 55



## ■さぎさか ゆうじ(匂坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 54歳

略歴：沼間小卒業・逗子中卒業・私立横浜商工高等学校卒業（有）匂坂豊店入社  
逗子市商工会青年部長・逗子葉山青年会議所理事長・逗子ロータリークラブ会長  
沼間小PTA会長・逗子中PTA会長・市PTA連絡協議会会長・県PTA執行役員  
逗子市消防団員・逗子ポイントカード事業協同組合副理事長・逗葉建設組合副組合長

家族構成：妻と長女 次女(大学生) 長男(高校生)  
議会職歴：副議長・総務常任委員長・教育民生常任委員長・議会運営委員長  
監査委員・予算特別委員長・決算特別委員長・基地対策特別委員長  
現在 4期目 議長(令和6年4月11日就任) 所属会派:市政クラブ

## 令和6年第3回定例会報告

第3回定例会が9月3日～27日に行われました。  
今定例会では、令和5年度逗子市一般会計及び  
3特別会計歳入歳出決算の認定、下水道事業会計決算の認定の議案が上程され、可決されました。  
その他、令和5年度の一般会計補正予算を含む議案15件（すべて可決）、その他に決議案、  
陳情が審議されました。決議案第2号として、旧指定放課後等デイサービス事業所海山時間の行政事務調査に関する決議が賛成多数で可決され、調査特別委員会(百条委員会)が設置されました。

## 【令和5年度 決算状況】

健全な財政運営の原則である収支の均衡及び財政構造の弾力性についての比率の推移  
財務比率の推移

	実質収支比率	経常収支比率	公債費比率	財政力指数
令和5年度	10.7%	94.3%	8.3%	0.789
令和4年度	15.3%	93.5%	8.6%	0.815
令和3年度	17.5%	85.6%	8.6%	0.837

実質収支比率：標準財政規模に対する割合。一般的には3～5%が望ましいとされている。  
 経常収支比率：経常一般財源に対する経常的経費の割合。  
 一般的には70～80%が望ましいとされている。  
 公債費比率：経常一般財源に占める公債費の一般財源所要額の比率。  
 一般的には10%以内が望ましいとされている。  
 財政力指数：財政上の能力を示す指数。この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

※令和5年度一般会計決算では、実質収支額の比率は、10.7%で前年度と比較して4.6ポイント下回っている。経常収支比率は、94.3%と前年度と比較して0.8ポイント上回っている。財政調整基金の5年度末現在高が、昨年度より増額の38億6千5百万円となりましたが、少子高齢化が進む中で市税は減少し、扶助費は今後も増加傾向で、さらに公共施設の老朽化対策や災害対策等もあることから、「歳入に見合った歳出」を実施し、健全な財政運営が重要となります。

## 米軍池子住宅地区46年ぶり一部返還へ

## 逗子市学生議会での提案を受けて実施

逗子市池子の米軍池子住宅地区のうち、逗葉地域医療センター・逗子市保健センターへの進入路（約0.25ヘクタール）が、11月末までに返還されることとなりました。8月29日に行われた日米合同委員会での合意を受けました。逗子市では1978年の第一運動公園隣接地のマイクロ通信施設以来46年ぶり、4カ所目の接收地返還となりました。医療センターは逗子市と葉山町の唯一の休日夜間診療拠点で米側の事情で突然、進入路の通行ができなくなる恐れもあるため、市が2002年に国へ返還を申請。日米両政府は2022年、返還の方針で合意したが、返還時期は未定でした。



市内の中学生を対象に学生議会議を8月に開催しました。中学生が、日頃感じていることやこうなったら良いなと思っていることを「議員」となって市長に質問・提案する企画です。今年は、市立中学校の生徒5名が参加しました。中学生の視点で、地域の魅力づくりから学校教育まで、多岐にわたり質問がありました。学生議員からの提案を受けて、市制70周年にあたって逗子市歌をより多くの人に知ってもらうことを目的に、市内で夕方に放送している防災行政無線試験放送のチャイムを、令和6年10月から逗子市歌に変更となりました。



## 同性カップル事実婚表記に～令和6年9月1日から～

## 収納業務の効率化・経費削減～職員業務のDX～

逗子市パートナーシップ宣誓制度の趣旨に鑑み、当事者の心情に寄り添い、パートナーシップの宣誓を行った同性カップルのうち申し出があった方には、住民票の写しの続柄に、異性間の事実婚に用いられる「夫(未届)」または「妻(未届)」の表記を可能にしました。逗子市では、2020年からパートナーシップ宣誓制度を開始、2022年には、逗子市男女平等参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例を制定し、多様な性に配慮したまちづくりに取り組んでいます。

令和6年10月から「税公金セルフ収納機」及び「入出金機オンラインシステム」を導入します。市税、国民健康保険料、介護保険料などの支払いから釣銭・領収書の受取までを、完全セルフで行うことができます。これまで対面により行ってきた、市庁舎内の指定金融機関による派出所を廃止し、委託費や職員の配置にかかる経費を削減します。7年間で、約1,000万円の削減効果を見込んでいます。(派出所の廃止は県内では本市が初)

皆様の声を聞かせて下さい。市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

	御名前
	御住所
	連絡先

送り先FAX 046-871-3552 TEL 046-871-3526 e-mail: [sagisaka@plum.ocn.ne.jp](mailto:sagisaka@plum.ocn.ne.jp)

発行責任者: 匂坂祐二(さぎさかゆうじ) ポスティング ボランティアを募集しています。御協力お願い致します。